

西藤洋先生略歴および著作目録

学 歴

1962年3月	金沢大学付属高等学校卒業
1963年4月	東京大学教養学部入学
1967年3月	東京大学経済学部卒業
1967年4月	東京大学大学院経済学研究科修士課程入学
1970年3月	同課程終了
1970年4月	東京大学大学院経済学研究科博士課程入学
1973年3月	同課程中退

職 歴

日本経済研究センター研究員	1971年6月～1973年6月
成蹊大学経済学部専任講師	1973年4月～1976年3月
日本女子大学家政学部非常勤講師	1975年4月～1976年3月
成蹊大学経済学部助教授	1976年4月～1983年3月
東京大学教養学部非常勤講師	1980年4月～1981年3月
成蹊大学経済学部教授	1983年4月～2009年3月
成蹊大学経済学特別任用教授	2009年4月～2012年3月

所属学会

日本経済学会（理論・計量経済学会）	1970年10月～
東京経済研究センター（TCER）	1971年4月～
（同センター 研究会幹事	1978年4月～1980年4月）
科学基礎論学会	1998年6月～

著作目録

《著書》

『日本経済の展望と課題』

福地 崇生，村上 泰亮編，第8章「不確実性，雇用および失業」執筆

日本経済新聞社，1985年3月

『枢機卿ベッラルミーノの手紙 -- 科学思想史への一つの扉』

未来社，2012年3月

《論文》

「不完全競争下の雇用計画について」

『日本経済研究』1巻，1973年3月

「企業と地域社会」

『季刊 現代経済』14号，1973年8月

「社会体系の統合と公共体の機能」

『成蹊大学経済学部論集』第6巻，1,2号，1975年10月

「ケインズ理論と現代経済」

『東洋経済』3971号，1976年10月

「ケインズ理論とスタグフレーション」

『経済セミナー』268号，1977年5月

「日本の雇用関係」

『経済セミナー』297号，1979年10月

「雇用の囲い込みと失業」

『経済セミナー』335号，1982年12月

“Economic Implications of the Diffusely Institutionalized Concept of Job,”

Industrial Relations Unit: Working Paper Series No. 28,

The London School of Economics and Political Science, June 1984

「枢機卿ベッラルミーノの手紙」

成蹊大学経済学部学会 Discussion Paper Series No. 19, 1990年2月

「科学へのメッセージとしての《無からの創造》 -- ベッラルミーノの手紙に寄せて」

『思想』827号，1993年5月

“Berkeley’s Razor and Absolute Space,”

- 成蹊大学経済学部学会 Discussion Paper Series No. 26, 1993年5月
「実証主義の系譜を遡る -- いくつかの証言とその背景」
『成蹊大学経済学部論集』27巻, 1,2号, 1996年2月
“William of Ockham on Efficient Causality: Did he anticipate an empirical view?”
成蹊大学経済学部学会 Discussion Paper Series No. 44, 1997年3月
“William of Ockham and El Niño,”
成蹊大学経済学部学会 Discussion Paper Series No. 47, 1997年11月
「ジョージ・パークリーにみる《オッカムの剃刀》」
『科学基礎論研究』26巻, 2号, 1999年3月
“William of Ockham and El Niño,”
『成蹊大学経済学部論集』33巻, 2号, 2002年3月
(同タイトルの Discussion paper を全般にわたって書き改めたもの)
“On the Make-up of Ockham’s Criterion of Efficient Causality,”
成蹊大学経済学部学会 Discussion Paper Series No. 81, 2004年3月
“On the Make-up of Ockham’s Criterion of Efficient Causality,”
Annals of the Japan Association for Philosophy of Science, Vol. 14, No. 1, November 2005
(同タイトルの Discussion paper を全般にわたって書き改めたもの)
“Jorge Berkeley on the Notion of Absolute Space,”
『成蹊大学経済学部論集』第37巻, 2号, 2006年3月
「契約・委任・信託」
『成蹊大学経済学部論集』第38巻, 2号, 2007年3月
「あるとみえるものは、たしかにあるか? -- ニコラス・オートウルクールの横顔」
『成蹊大学経済学部論集』第39巻, 2号, 2008年3月
「オシアンダーの序文について」
『成蹊大学経済学部論集』第40巻, 1号, 2009年7月
「《たしかな知》と《たしからしい知》」
『成蹊大学経済学部論集』第41巻, 1号, 2010年7月

〈学会報告〉

「企業の組織構造と賃金，雇用量の調整」

理論・計量経済学会，1973年9月

「わが国における雇用組織の特徴について」

《報告書》

「賃金調整函数について」

堀内 昭義氏と共著， 経済企画協会，1970年3月

「福祉施設と国民費用負担の方法・制度の比較研究」

青木 昌彦氏，西部 邁氏と共著， 日本総合研究所，1975年12月

「労働市場の特質と規模別賃金格差」

『賃金格差に関する研究：中間報告』，日本生産性本部，1976年3月

「人件費構成の推移からみたわが国における雇用関係の構造」

『賃金，雇用，参加』，日本生産性本部，1977年3月

「公企業における技術開発，技能蓄積と経営効率」

『混合経済における公共部門の分担領域』，財政研究所，1978年3月

「公企業における経営効率と制度設定の妥当性」

『混合経済における公共部門の分担領域』，財政研究所，1979年3月

「実証主義，道具主義，本質主義」

『経済学と隣接諸科学』，日本総合研究所，1987年9月

《書評，その他》

書評：Lincoln, E. J., *Japan Facing Economic Maturity*

『アジア太平洋研究』第6巻，1990年3月

「チェロ・ソナタ，ト短調（K・・・）」

『緑蔭堂文庫ニュース』第29号，1991年12月

「ご挨拶」

『成蹊大学図書館所蔵稀書解説目録』，2006年9月

「『緑蔭堂文庫ニュース』復刊に寄せて」

『緑蔭堂文庫ニュース』第30号，2008年4月

「『緑蔭堂文庫ニュース』復刊第二号に寄せて」

『緑蔭堂文庫ニュース』第31号，2009年4月